

しゃぼん玉遊び

1 ねらい

しゃぼん玉遊びを通して、しゃぼん玉の作り方、しゃぼん玉の色や形、大きくする工夫などについて気付くことができる。

2 準備物

(1) しゃぼん液材料

- ・ 食器洗い用洗剤 (600ml)
- ・ PVA洗濯のり (750ml入り)
- ・ グラニュー糖 (500g入り)



(2) しゃぼん玉用具

- ・ ストロー
- ・ 紙コップ (200~300ml)
あらかじめストローを通す穴をあけておく
- ・ 針金で作った輪
小 (児童用) 人数分、大 (指導者用)
- ・ しゃぼん液容器 (プラスチック製たらい等)
小 (直径30cm程度) 児童4~5人につき1個
大 (直径60cm程度) 指導者用1個
- ・ しゃぼん液用ポリタンク (10~20リットル)



(3) 輪の作り方

① 針金で、直径20~25cm程度の輪を作る。

針金ハンガーを利用してもよいが、最近のハンガーの針金は硬くて曲げにくい。

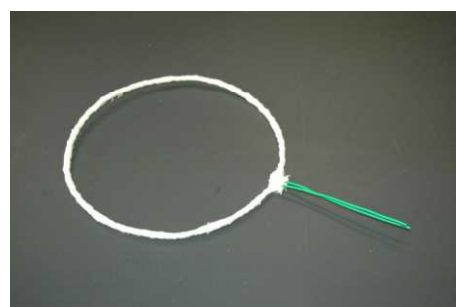
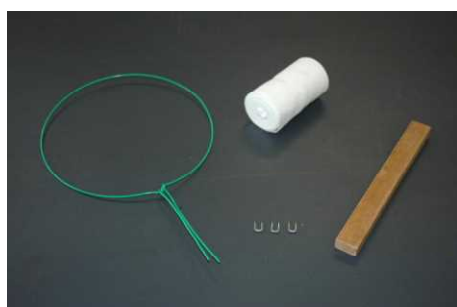
② ガーゼの包帯を巻く (毛糸でもよい)。

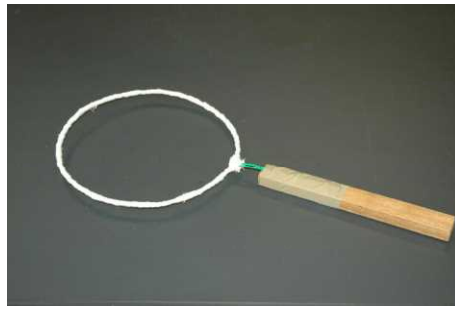
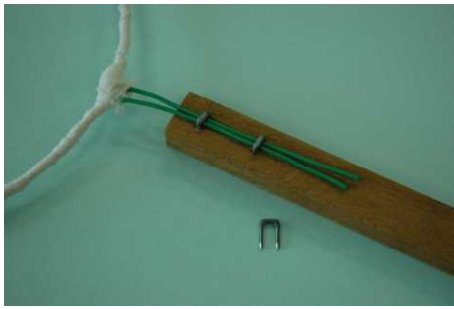
太く巻くとしゃぼん玉液をより多く吸う (あまり太く巻くとしゃぼん液が無駄になる)。

③ 針金をステープル釘 (U字釘) などで棒に固定する。

④ 固定した箇所をガムテープなどを巻いて保護する。

※ 大きい輪は直径50cm程度 (子どもの肩幅以上) にする。





3 シャボン玉液の作り方 (25名分、約5.5リットル)

食器洗い洗剤：PVA洗濯のり：水＝1：5：10の混合液

→ 洗剤・・・1＋1／3本分

洗濯のり・・・2＋1／3本分

水・・・約3.5リットル

をよく混ぜ、泡が落ち着いてから使用する。

※人が入れる大きさのシャボン玉を作るには・・・

→ 洗剤150mL、洗濯のり750mL、水1050mL

100mLの水に10gのゼラチンを溶かしたもの

をよく混ぜ、泡が落ち着いてから使用する。

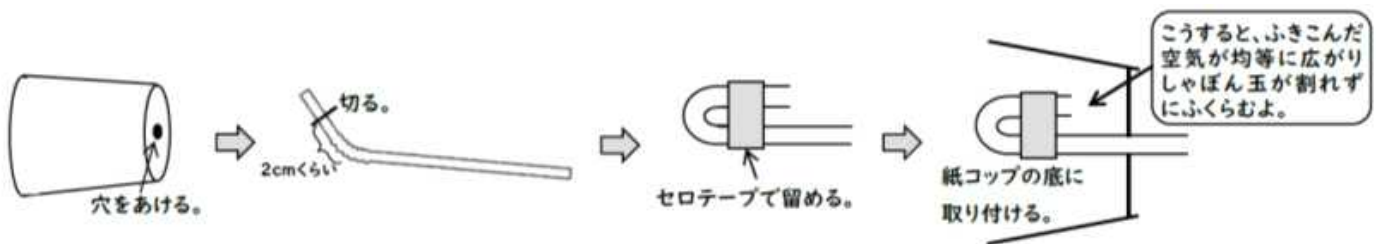
4 遊び方

(1) 大きなシャボン玉をつくる工夫をしよう。

- ・ストローの吹き方やシャボン液の量の違いに気付かせる。
- ・先を広げたストローで大きなシャボン玉をつくって見せる。

(2) もっと大きなシャボン玉をつくろう。

- ・あらかじめ紙コップの底に千枚通しや十字ドライバーで穴をあけておく。
- ・曲がるストローのくわえる方を、曲がる部分から2cmくらいのところで切る。それを曲げて、もう一方にセロテープで留める。
- ・紙コップの内側からストローを紙コップの底に差し込み取り付ける。



* 紙コップの縁にシャボン液をつけ、ストローを吹いて大きなシャボン玉をつくる。

* シャボン玉の色や膜に映っている像を観察させる。

(3) 大きなシャボン玉を連続してつくろう。

- ・針金にガーゼを巻いて作った輪を使う。

5 実施上の留意点

◎できるだけ屋外で実施する。

- ・しゃぼん玉の膜の色や膜に映る像が観察しやすい。
- ・しゃぼん玉が高く上がる。
- ・場所が広いと子ども同士の接触事故が少ない。
- ・後始末がしやすい。

※屋内で実施する場合

- ・床がしゃぼん玉液で濡れるので、ビニールシートを敷く。
- ・しゃぼん玉液で滑らないように注意する。シートから出るときはぞうきんで靴の裏をよく拭く。

◎児童への注意

- ・しゃぼん玉液が目に入ったらすぐ先生に言う。
- ・ストローの先を人（の目）に向けない。
- ・走ったりして、他の人とぶつからないようにする。
- ・容器の中のしゃぼん玉液を（かき回して）泡立てない。
- ・しゃぼん玉液の容器の前では、並んで順番を待つ。
- ・家に帰ったら、しゃぼん液の付いた衣服は着替え、必ず頭を洗う。